

年月日	22 04 29	ページ	10	NO.	
-----	----------	-----	----	-----	--

本社・3工場 再生エネに切り替え

日本タングステン
3工場と本社ビルの購入電力を100%再生可能エネルギー由来に切り替えた。中期経営計画に挙げる、持続可能な社会実現への貢献の一環。低炭素社会に向けた取り組みとして、二酸化炭素排出量換算で年間7700トンの削減を見込む。



基山工場（日本タングステン提供）

日本タングステン 低炭素実現 中計の一環

切り替えたのは基山（佐賀県基山町）、宇美（福岡県宇美町）、飯塚（同飯塚市）の各工場と福岡市博多区にある本社ビル。水力発電や地熱発電などに由来する電力を活用できる、九州電力の法人向けプラン「再生エネECO極（きわみ）」を採用した。

3工場と本社ビルで使用するエネルギーのうち電力は全体の約9割を超え、2021年度は約1万6000メガワット時。日本タングステンは「今後、ホームページにサステナビリティ関連の内容を作成し、取り組みをアピールしていく」という。

（福岡）